

クセロサーチPDFWeb

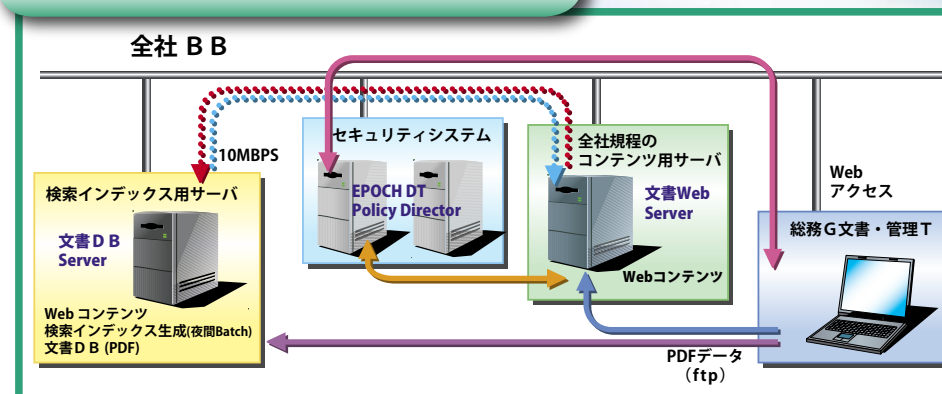
松下電器産業株式会社

導入事例

Vol.2

イントラネットによる共有文書の検索

総務G文書サーバーネットワーク構成図



サーチ PDF Web 必要なシステム

- 【必要なシステム】
- OS
 - ・ Windows NT 4.0 Server 日本語版 (SP4 以降) / Windows 2000
 - ソフトウェア
 - ・ Microsoft Internet Information Server v.4.0 以降 (Intel CPU 用)
 - ・ Adobe Acrobat 4.05/5.0/5.0.5 (インデックス作成用)
 - メモリ
 - ・ 上記 OS が必要とするメモリに加えて 32MB 以上
 - * クライアントには PDF ファイル閲覧用に Acrobat Reader が必要です。
- 【制限事項】
- ・ 1 インデックスファイルに登録できる PDF ファイル数は、65,535 以下。
 - ・ 1 インデックスファイルに登録できる PDF ページ総数は、65,535 以下。
 - ・ インデックスファイルサイズは 2GB 以下。

コスト削減と情報共有化を実現。
1950年代から運用する「**全社規程集**」を完全電子化。



■松下電器産業株式会社 社屋

綱領

産業人タルノ本分ニ徹シ
社会生活ノ改善ト向上ヲ図リ
世界文化ノ進展ニ
寄与センコトヲ期ス

生産・販売活動を通じて社会生活の改善と向上を図り、世界文化の進展に寄与する——。松下電器産業の創業者、松下幸之助が昭和4年に定めた「綱領」である。

明文化の文化

松下電器では企業理念や規律を明文化し、社内外にわかりやすく提示している。経営理念を簡潔に記した「綱領」のほか、「向上発展は各員の和親協力を得るに非ざれば得難し 各員至誠を旨とし一致団結社務に服すること」とうたった「信条」、「公明正大の精神」など7つの精神を記した「松下電器の遵奉すべき精神」が有名だ。1992年には、経営理念を役員以下全員で実践するために、事業活動の様々な局面において順守すべき具体的事項を「行動基準」として定めた（1998年に抜本改正）。こうした「明文化の文化」を有する松下電器が、1998年に経理や人事の制度をまとめた「全社規程集」の完全電子化に踏みきり、2003年4月から『クセロサーチPDFWeb』の全文検索機能を追加した全社的な運用を開始した。

3分冊をペーパーレス化

この「全社規程集」は1950年代から運用しているもので、電子化するまでは「経理」「人事」「総合」の三冊で構成。それぞれA4版の大きさで数センチの厚さがあり、これを約400ヶ所の事業場に備置していた。

紙でできた冊子の電子化はコスト削減になるうえ、環境保護にも役立つ。松下電器は1991年6月5日、「松下環境憲章」として「環境宣言」と「行動指針」を制定。これに基づいた環境保全活動を推進してきた。

2000年に就任した中村邦夫社長は「環境宣言」と「行動指針」に沿って「紙は使わない」と全社に指示。3分冊だった「全社規程集」の完全電子化を後押しする格好となった。

情報共有にも一役

単純に計算すれば、「全社規程集」の電子化によって印刷代等のコスト削減になる。しかしながら、完全電子化に至った理由はコスト削減だけではない。「全社規程集」は各事業場に1セットだけ備置されていたため、「規程」の中身どころか、「規程集」の存在すら知らない社員もいた。社内にイントラネットが普及してきたことを背景に、社内全員に全社規程を見てもらい、誰がその仕事を担当しても同じように正確で効率的かつ最大の効果を上げることができる環境を整備することが大きな理由という。

つまり「全社規程集」を電子化する以前は、

- ①「社内規程集」の運用に手間やコストがかかる
- ②社員全員で共有されていない
- ③コストがかかっている割に中身が陳腐化しやすい

——といった問題があった。これを電子化したことによって、

- ①社員全員で情報共有できる。
 - ②コンテンツの陳腐化を防止できる。
 - ③ペーパーレス化で印刷代を削減できる。
 - ④配付や差し替え工数をなくせる。
- というメリットがもたらされたわけだ。

検索機能やコストで優位

PDFをベースとした『クセロサーチPDFWeb』を採用した理由について、松下電器・総務グループ文書・管理チームの寺内主事は「どの端末で、どの事務所がアウトプットしても同じフォーマットのものを見る事ができる、というのがPDFにした理由」と前置きしたうえで、「紙ベースの使用感に比べてまだまだ使いづらい部分も多く、全文検索等の機能アップは不可欠であり、現環境を大きく変えることなく速やかにかつ安価にこの機能を付加するには、『クセロサーチPDFWeb』が唯一無二のソフトでした。」と明かす。

実際、情報部門からは他社製品を推す声もあったが、「運用コストやトータルのコストで見合わなかった」という。

セキュリティレベルをカスタマイズ

一方、国内だけで80を数える連結事業を持つ松下電器にとって、「全社規程集」の運用には慎重を要する。

例えば、人事規程は松下電器とパナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)、松下電子部品(株)とは同一だが、関係会社によっては異なったものを使用する会社も存在する。このため、「この規程はどの会社に適用する、適用しない」といった管理が必要になる。さらに、職能規程によっては閲覧できる人、できない人の管理が必要となっている。

クセロは、こうした松下電器のセキュリティポリシーに合わせて、システムをカスタマイズした。

松下電器では『EPOCH Desktop (エポックデスクトップ)』というイントラネットを活用し、会社側から社員への情報伝達や社員同士の情報共有に役立っている。



「使ってみての使用感はすごくいい。」と寺内主事

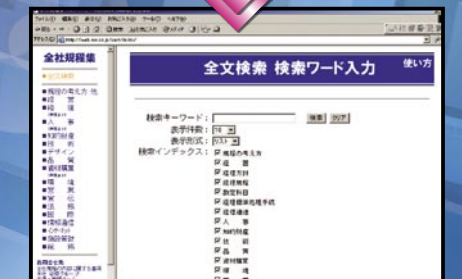
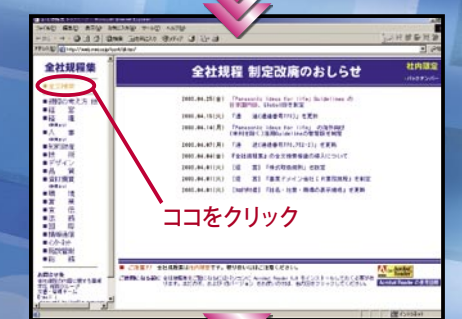
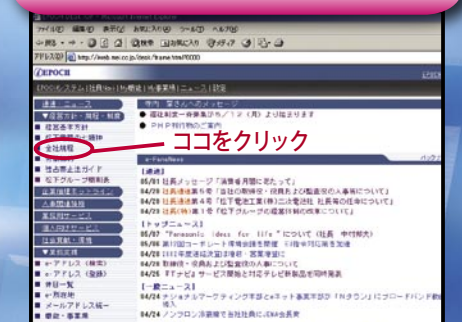
「パソコン不得手でも利用可」

全文検索機能「全社規程集」の運用開始は2003年4月の初めに『EPOCH Desktop』を通じて社員向けにアナウンスされた。電子版「全社規程集」のユーザー数は一気に10万人以上、多くの人の目に触れるところとなったが、特に検索スピードについては「ヤフーやgooより早い」と評価は上々という。

『クセロサーチPDFWeb』の導入に携わった寺内主事は電子版「全社規程集」の使用感について、「難しすぎず、簡単すぎず、パソコンリテラシーがあまり高くない人でも使える」と、パソコンに不慣れな人でも使えるような親しみやすさを評価する。

松下電器では「全社規程集」の電子化を足掛かりに、今後、「社長通達」の検索や技術、品質など部門ごとの文書検索といった新機能の追加も検討するという。

「全社規程」の利用手順



Corporate profile

本社：大阪府門真市大字門真 1006 番地
設立：昭和10年12月(創業大正7年3月)
取締役社長：中村邦夫
資本金：258,738 百万円
従業員数：5万2000人(単独)
28万8000人(連結)